

## 認知症に関する活動計画（概要）

島根県作業療法士会では、令和6年度は、昨年度好評であった対面型の多職種での研修会の開催により、多職種連携に必要な顔が見えるつながりをつくることに重点をおいて活動していく予定です。また、認知症の人と家族の会との連携の在り方を検討していく予定です。

## 多職種での合同研修会「多職種連携によるBPSDの対応」（対話型研修会）

島根県の「認知症施策の推進」によると島根県における認知症高齢者数は、令和7年には42,400人（島根県人口の約7%）に増加することが見込まれています。認知症ケアにおいて、行動・心理症状（BPSD）への対応についてはチームで関わるのが重要であり、看護・介護職やケアマネジャーなど多職種での認知症ケアのスキル向上を目的に実施する予定です。行動・心理症状へのケアについて多職種の視点から価値観や情報を共有して実践につなげられるようにしていきます。昨年度の開催実績として、理学療法士、ヘルパー、生活相談員、保健師などの参加があり、対話を通じて参加者の現場での困りごとの解決の糸口が得られる機会になりました。



## 認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会の旅行支援を行いました。当事者と家族が安心して一緒に温泉旅行ができるように、移動や入浴の支援を行いました。なかなか当事者と一緒に旅行に出かけることが難しいご家庭が多い様子であり、ご本人のいつもと違う一面を見ることができ、気分転換や交流を深めるよい機会になりました。



## 島根RUN伴への参加(松江・出雲・大田・浜田・益田地区)

県士会員が当事者や地域住民、他職種と協働して「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指して活動しています。認知症の人と家族の会や行政と連携して研修会への参加やイベントの企画を行っています。

